

2022年3月期 第3四半期連結決算の概要

[2021年度]

2022年2月2日

株式会社日立製作所
執行役専務 CFO

河村 芳彦

Contents

1. 今回のポイント
2. 2021年度 第3四半期累計 実績
3. 2021年度 第3四半期 実績
4. 2021年度 見通し
5. 参考資料

1. 今回のポイント

マクロ経済環境 GDPの見通し (対前年成長率⁽¹⁾)

地域	CY21	CY22	概況
グローバル	+5.6%	+4.4%	景気回復は継続するも、供給制約の影響が2022年に残る見込み
日本	+1.5%	+3.1%	消費の持ち直しと経済対策により回復する見込み
米国	+5.5%	+3.8%	内需主導で景気回復が継続するが、インフレーションにより早ければ3月に利上げがあり、金融市場→実物経済へ影響が生じる見込み
ユーロ圏	+5.1%	+3.9%	環境分野を中心にインフラ投資が加速する見込み
中国	+8.1%	+5.2%	不動産市況悪化などが経済下押し要因となるが、緩和的政策運営の下で景気は緩やかに回復する見込み

マクロ経済環境 足元のプラス要因/マイナス要因

プラス要因	マイナス要因
<ul style="list-style-type: none"> 世界的なDX需要の拡大 カーボンニュートラル実現に向けた環境関連投資の増加 EVの利用増加・EV充電システムの普及 各国におけるインフラ投資の増加 <ul style="list-style-type: none"> 日本の国土強靱化政策(電力の広域連携等) 米国の1兆ドル規模のインフラ投資法の成立 	<ul style="list-style-type: none"> 部材価格高騰および物流コスト上昇の継続 半導体不足の継続 電力需給のひっ迫 COVID-19の拡大による活動制限 米中対立、ウクライナ等の地政学リスク 中国不動産市況の不安定化 FRBのテーパリング・利上げによる経済影響

(1) 日立総合計画研究所 短期経済予測を元に作成
各地域の対前年成長率は2021年12月時点の予測ベース(中国のCY21対前年成長率は実績値)
本資料の各ページ内に記載の無い注記は38ページに記載しています

1

半導体不足、部材価格高騰、パンデミック再拡大など、事業環境の厳しさは継続中。日立金属株式売却の延期があるものの、営業利益改善策、FY21税金費用の減少により、FY21通期見通しは変更なし

- 半導体不足により日立Astemo、計測分析システム事業(日立ハイテク)を中心に売上減少影響あり
- 部材価格高騰は日立Astemo、日立エナジー、ビルシステム事業で影響が顕著
- COVID-19により、一部事業においてプロジェクト進捗の遅れ等事業活動への影響あり

2

環境関連事業(日立エナジー、鉄道システム事業)を中心に受注が好調、Lumada事業・GlobalLogicは堅調に推移

- 日立エナジーの受注が堅調に推移
(FY21 3Q受注高：4.2bn米ドル 受注残高：約14bn米ドル)
- 鉄道システム事業が、アルストムと英国でハイスピード2 向け車両の製造・保守を契約金額約2,957億円で受注
- Lumada事業はYoY+40%、オーガニックベースではYoY+15%で売上収益が増加
- GlobalLogicはYoY+51%(米ドルベース+39%)の売上成長を実現

3

日立金属に続き、事業ポートフォリオの見直しを実施。日立建機株式の一部売却を決定、親子上場子会社を解消の方向

- 日立が保有する日立建機株式の一部(26%持分相当)を日本産業パートナーズ・伊藤忠商事が出資するHCCIホールディングス合同会社に売却(2022年6月予定)、日立建機を持分法適用会社化

- 半導体不足は、日立Astemoを中心に引き続き影響あり
- 部材価格高騰は、日立Astemo・日立エナジー・ビルシステム事業を中心に引き続き影響あり

	半導体不足	部材(鉄、銅等) 価格高騰	パンデミックによる活動制限	物流、その他
IT	ITプロダクト関連における 売上収益の減少	比較的軽微	国内の一部業種での顧客 投資抑制、インドを中心とした 需要回復遅れなど	比較的軽微
エネルギー	パワーグリッド事業における 売上収益減少とコスト増加	電磁鋼板等の価格高騰で パワーグリッド事業のコスト増加	比較的軽微	パワーグリッド事業の 物流コスト増加
インダストリー	一部製品(FA機器など)で 納期に影響	一部プロダクト事業 におけるコスト増加	比較的軽微	比較的軽微
モビリティ	比較的軽微	ビルシステム事業 におけるコスト増加	鉄道システム事業における 一部プロジェクトの進捗遅延	比較的軽微
ライフ	比較的軽微	家電事業におけるコスト増加	家電事業において 一部部品調達遅延	計測分析システム事業に おいて部品供給不足 により生産面に影響
日立Astemo	自動車メーカーの減産により 売上収益が大きく減少	鋼板、銅等の価格高騰による 一部製品におけるコスト増加	インドにおける部品供給の減少	比較的軽微
上場子会社	日立金属：自動車メーカーの 減産により自動車関連事業 (鋳物等)の売上収益減少	日立建機：鋼材価格を 中心としたコスト増加	比較的軽微	比較的軽微

受注の状況 (FY21 3Q)

- 日立エナジーや鉄道システム事業など、環境関連事業を中心に受注が堅調に推移。インダストリーセグメントや計測分析システム事業(日立ハイテク)の受注も前年同期比で増加
- 日立と英国ファーストバス社がゼロエミッション加速に向けて戦略的パートナーシップを締結。電気バス向けにスマート充電ソリューションなどを提供し、脱炭素化を支援
- 日立Astemoのインバーターが中国EVメーカーのハイブリッドパワートレインプラットフォームに採用

単位：億円	FY21 受注高		YoY		概況 (FY21 3Q)
	3Q	3Q累計	3Q	3Q累計	
IT	5,334	16,196	112%	106%	<ul style="list-style-type: none"> 交通分野等の顧客投資抑制があるも、公共分野での大口案件の獲得や、DX需要を取り込んだLumadaソリューションが堅調に推移し、全体で増加 GlobalLogicは大手欧米企業を中心にデジタルソリューションの新規案件を獲得
日立エナジー	4,819	10,570	162%	197%	<ul style="list-style-type: none"> 市況回復やカーボンニュートラルに向けたエネルギー転換の加速により堅調に推移 サウジアラビア・エジプト間初の大規模HVDCおよび、アブダビ国営石油会社などが出資する陸上・洋上間連系プロジェクト向けHVDCを受注 デンマークにおいて、EV急速充電ステーションへのバッテリー蓄電システムの提供契約を締結
インダストリー	2,580	7,001	122%	114%	<ul style="list-style-type: none"> 産業・流通BUにおいて、市況回復に伴いデジタルソリューション事業の受注が堅調に推移 インダストリアルプロダクツ事業において、市況回復に伴い海外を中心に受注が好調 日立建機向けダンプトラック電動化など環境関連の受注が好調。脱炭素エネルギー製造プラント(グリーン/ブルーアンモニア等)向け遠心圧縮機の引合増加中
鉄道	2,836	5,478	182%	128%	<ul style="list-style-type: none"> 市況回復やカーボンニュートラルへの転換により堅調に推移 アルストムと英国でハイスピード2向け車両の製造・保守を契約金額約2,957億円で受注 イタリアの鉄道運営会社FERROVIENORD社と2階建て車両50編成の納入を約597億円で締結
計測分析システム事業 (日立ハイテク)	2,139	5,832	132%	144%	<ul style="list-style-type: none"> アナリティカル・ソリューション事業におけるCOVID-19影響等からの市況回復に加え、ナノテクノロジー・ソリューション事業における半導体製造装置の長納期品を含めた需要増加により、堅調に推移。一方、部品供給不足の影響も懸念される

GlobalLogic

- 売上収益は前年同期比151%(米ドルベース139%)、調整後営業利益^{*1}率22.5%、EBITDA^{*2}マージン23.6%と高い収益性を維持
- 日立エナジーとのグリーンデジタル市場での事業拡大に向けた取り組みや、鉄道システム事業との予防保全など鉄道サービス事業の高度化に向けた取り組みなど、各セクターとのシナジー創出も加速中

単位：億円	3Q	YoY ⁽³⁾
売上収益	376	151%
調整後営業利益 ⁽¹⁾ (スタンド・アローン ⁽²⁾)	85	+29
	22.5%	+0.2ポイント

鉄道システム事業

- ハイスピード2など大型案件を獲得し受注は堅調に推移
- タレス社鉄道信号関連事業買収のクロージング(2022年度後半予定)に向け手続きを推進中
- 作業高増加や為替影響により売上収益の増加があるものの、製品構成変動により減益

単位：億円	3Q	YoY
売上収益	1,570	112%
調整後営業利益	34	△2
	2.1%	△0.5ポイント

日立エナジー

- 大型HVDC案件やEV急速充電ステーションへのバッテリー蓄電システムを受注するなど、3Q受注は堅調に推移
- 部材価格の高騰、半導体不足、物流混乱の影響による減益はあったものの、為替影響や継続的な業務効率化により横ばい

単位：億円	3Q	YoY
売上収益	2,804	103%
調整後営業利益 (スタンド・アローン)	204	△4
	7.3%	△0.3ポイント

日立Astemo

- 前年比では、統合影響により増収も、半導体不足や部材価格高騰影響により減益
- 前四半期比ではOEM減産の部分的緩和により増収増益
- 半導体不足の影響は3Qがボトムと想定したが、4Q以降も継続する見込み

単位：億円	3Q	YoY ⁽⁴⁾	QoQ
売上収益	3,953	164%	106%
調整後営業利益	122	△64	+20
	3.1%	△4.7ポイント	+0.4ポイント

(1) パーセンテージは調整後営業利益率を表しています

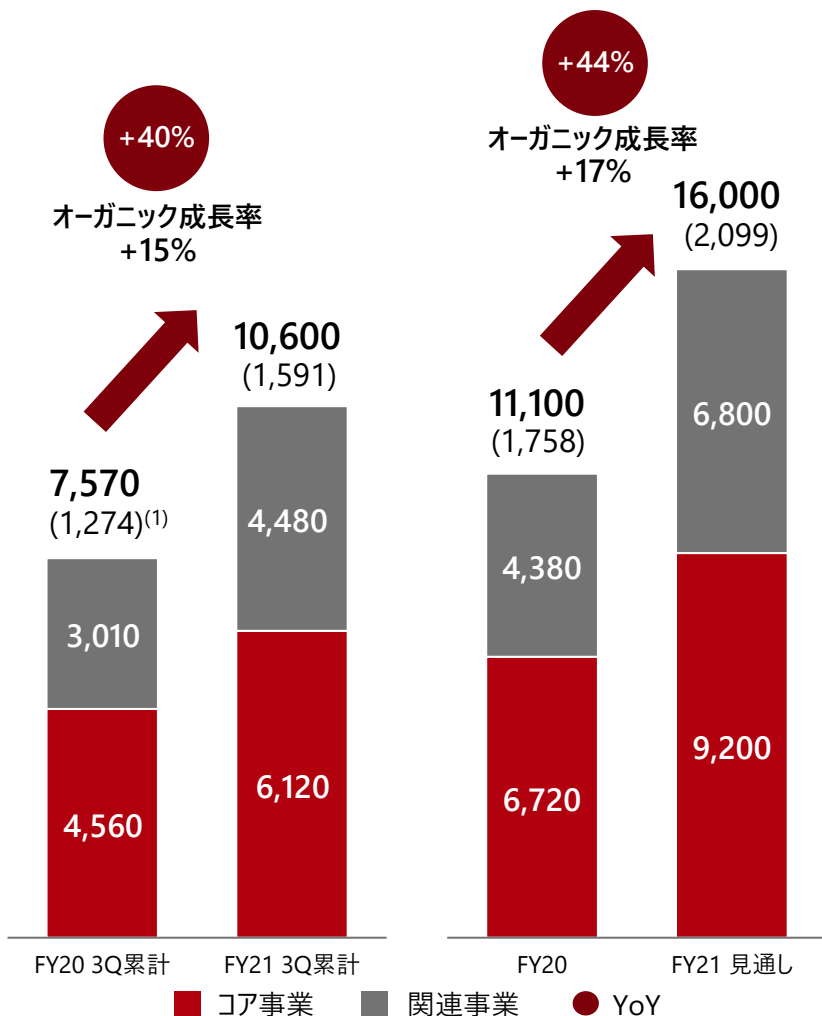
(2) スタンド・アローンには、買収に伴う無形資産等の償却費³や関連費用は含まれていません

(3) GlobalLogicの買収は2021年7月14日に完了。GlobalLogicの前年度実績は日立の前年度実績に含まれていません

(4) 日立Astemoの2020年度第3四半期実績にはケー・ヒン、ショーワ、日信工業の業績は含まれていません

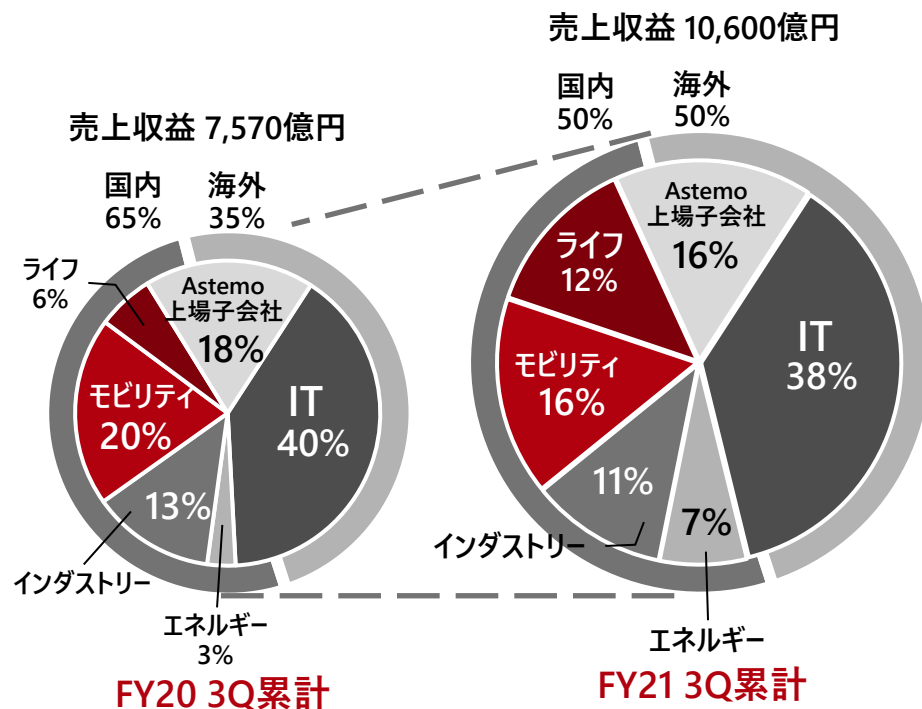
Lumada事業 売上収益

単位：億円



セグメント別 構成比

オーガニック成長に加え、パワーグリッド事業やGlobalLogicの買収により、Lumada事業の海外比率が拡大



トピックス

今後の成長に向けて、金融機関と協業し、企業の脱炭素化施策を支援するソリューションを提供開始。Lumadaを活用したESG・サステイナブルファイナンスプラットフォームビジネスの実現に向けた活動を推進中

(1) 括弧内の数字は日立建機のLumada事業売上収益

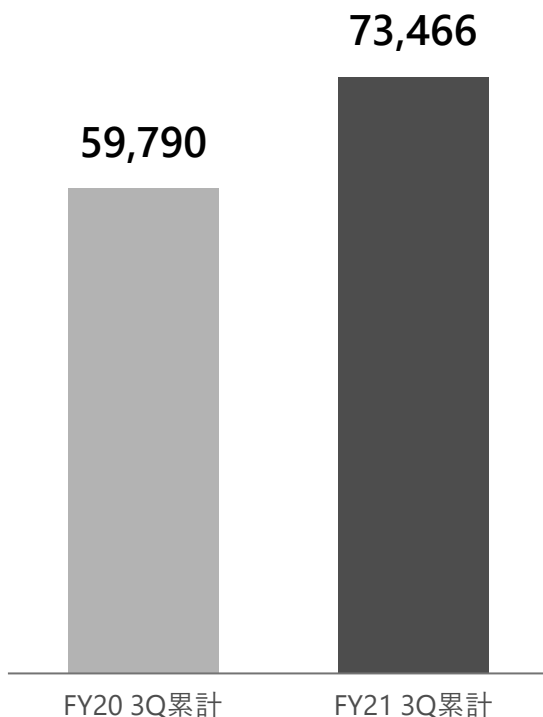


2. 2021年度 第3四半期累計 実績

売上収益

YoY 23%増収

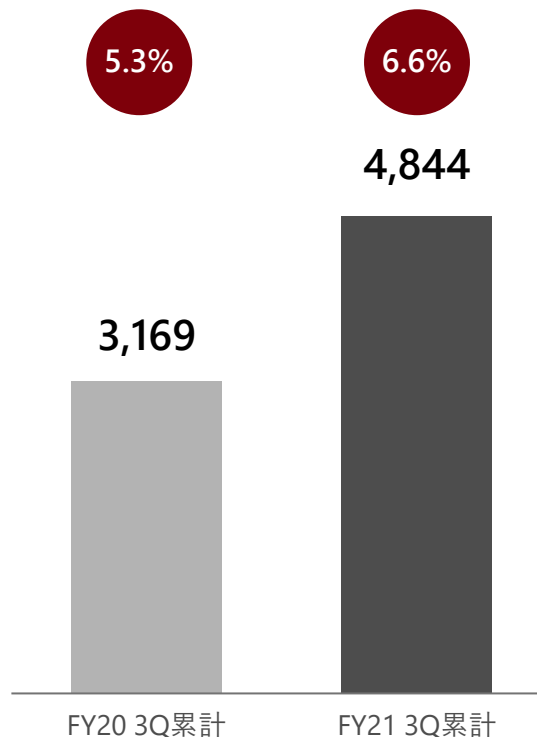
市況回復、パワーグリッド事業および
GlobalLogic買収・日立
Astemo統合影響により増収



調整後営業利益

YoY 利益率 +1.3ポイント

売上収益の増加に伴い増益



海外売上収益

44,628億円 (YoY +41%)

Lumada事業売上収益

10,600億円 (YoY +40%)

EBIT*4

6,014億円 (YoY +978億円)

四半期利益 (親会社株主帰属)

4,507億円 (YoY +1,429億円)

EBITDA

10,004億円 (YoY +1,449億円)

営業キャッシュ・フロー

2,571億円 (YoY Δ 1,692億円)

● 調整後営業利益率 単位：億円

5セクター・Astemo・上場子会社別 実績 (FY21 3Q累計)

- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業・GlobalLogic買収影響により増収増益
- Astemo：日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

	5セクター*5 [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ*6]	Astemo [オートモティブシステム*6,7]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
単位：億円				
売上収益	47,841	11,513	14,112	73,466
YoY	111%	204%	128%	123%
調整後営業利益	3,687	345	811	4,844
YoY	+607	+346	+722	+1,675
調整後営業利益率	7.7%	3.0%	5.7%	6.6%
YoY	+0.6ポイント	+3.0ポイント	+4.9ポイント	+1.3ポイント
EBIT	4,802	319	892	6,014
YoY	△877	+717	+1,139	+978
EBIT率	10.0%	2.8%	6.3%	8.2%
YoY	△3.2ポイント	+9.9ポイント	+8.5ポイント	△0.2ポイント
四半期利益(親会社株主帰属)	4,164	35	308	4,507
YoY	+451	+503	+474	+1,429

セグメント別実績 (FY21 3Q累計) (1/3)

単位：億円	FY21 3Q累計			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽²⁾	EBIT ⁽²⁾	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
IT	14,954	1,706	1,626	104%	△32	+8	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では、Lumada事業やGlobalLogicが堅調により増収も、半導体不足の影響やGlobalLogicの買収に伴う無形資産等の償却費、統合に向けた一時的費用などの関連費用により減益 フロントビジネスは、交通分野の投資抑制の影響等があるも、Lumada事業が堅調に推移 サービス&プラットフォームは、半導体不足の影響が拡大するも、GlobalLogicが順調に成長
フロント ビジネス ^{*8}	9,839	1,190	1,175	100%	+67	+103	
サービス& プラットフォーム ^{*9}	6,129	478	412	109%	+13	△4	
エネルギー	10,363	69	204	137%	+156	+309	<ul style="list-style-type: none"> 原子力BUの作業高減少や、エネルギーBUの風力発電システム事業の戦略変更により減収も、エネルギーBUにおける一部案件の対策強化の終了等により増益 日立エナジーは、部材価格高騰の影響が発生するも、買収影響により増収増益
原子力 ^{*10}	776	-	-	80%	-	-	
エネルギー ^{*10,11}	1,270	-	-	98%	-	-	
原子力・エネ ルギー合計 ^{*10,11}	-	117	149	-	+93	+114	
日立エナジー	7,987	476	499	158%	+120	+117	
関連費用 ⁽¹⁾	-	△527	△549	-	△81	△46	

(1) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

(2) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

セグメント別実績 (FY21 3Q累計) (2/3)

単位：億円	FY21 3Q累計			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
インダストリー	6,061	536	546	110%	+296	+286	
		8.8%	9.0%		+4.4ポイント	+4.3ポイント	
産業・流通 ^{*10}	2,382	299	286	112%	+202	+186	<ul style="list-style-type: none"> 産業・流通BUは、市況回復およびJRオートメーションの売上増加により増収増益
		12.6%	12.0%		+8.0ポイント	+7.3ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 水・環境BUは、空調システム事業等が堅調に推移したことに加え、固定費削減により増収増益
水・環境 ^{*10}	1,049	52	63	110%	+29	+55	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアルプロダクツ事業は、市況回復に伴う売上増加により増収増益
		5.0%	6.0%		+2.6ポイント	+5.2ポイント	
インダストリアル プロダクツ	2,783	188	200	109%	+80	+55	
		6.7%	7.2%		+2.5ポイント	+1.5ポイント	
モビリティ	10,777	647	901	125%	+53	+199	
		6.0%	8.4%		△0.9ポイント	+0.3ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ビルシステムBUは、部材価格高騰の影響が発生するも、中国事業拡大や為替影響等により増収増益
ビルシステム	6,490	584	585	126%	+21	△83	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道システムBUは、作業高増加および為替影響により増収増益。EBITは、アジリティ・トレインズ・イースト社一部株式の売却により増益
		9.0%	9.0%		△1.9ポイント	△3.9ポイント	
鉄道 ^{*10}	4,449	101	353	122%	+27	+277	
		2.3%	7.9%		+0.3ポイント	+5.8ポイント	
ライフ⁽¹⁾	7,433	519	1,100	83%	△108	+467	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では、画像診断関連事業の売却により減収
		7.0%	14.8%		±0.0ポイント	+7.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生活・エコシステム事業は、Lumada事業が拡大したものの、海外家電事業の売却影響により減収、調整後営業利益が減少したものの、海外家電事業の売却益によりEBITは増益
生活・エコシステム (日立GLS ⁽²⁾)	2,992	198	783	89%	△78	+487	<ul style="list-style-type: none"> 計測分析システム事業は、アナリティカル・ソリューション事業で増収があったものの、インダストリアル・ソリューション事業の一部事業撤退影響により減収。また、ナノテクノロジー・ソリューション事業の製品構成差と戦略的投資増加により減益
		6.6%	26.2%		△1.6ポイント	+17.4ポイント	
計測分析システム (日立ハイテック)	4,100	366	364	93%	△57	△67	
		8.9%	8.9%		△0.7ポイント	△0.9ポイント	

(1) ライフセグメントの実績には、ヘルスケア事業他の売上収益・調整後営業利益・EBITが含まれています

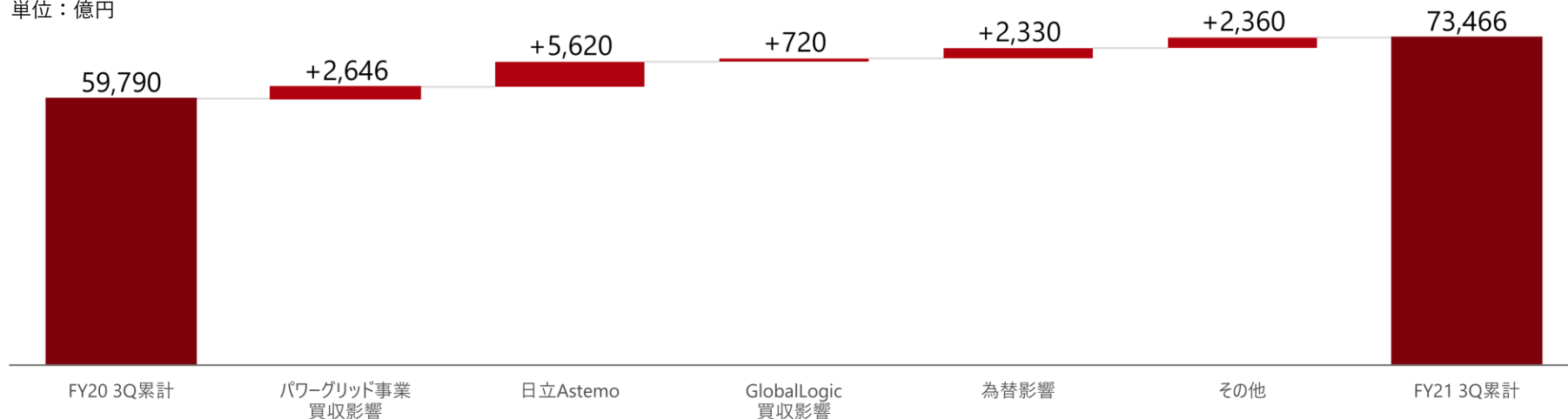
(2) 日立GLS：日立グローバルライフソリューションズ

セグメント別 実績 (FY21 3Q累計) (3/3)

単位：億円	FY21 3Q累計			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
日立Astemo	11,513	345 3.0%	319 2.8%	204%	+346 +3.0ポイント	+717 +9.9ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足の影響による自動車メーカーの減産、部材価格の高騰、ロックダウン影響による部品供給減少などの影響があったものの、統合影響により増収増益
日立建機	7,203	604 8.4%	676 9.4%	129%	+429 +5.3ポイント	+540 +7.0ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材価格を中心としたコスト増加影響があったものの、市況回復や米州での価格調整および為替の円安影響により増収増益
日立金属	6,908	206 3.0%	215 3.1%	128%	+292 +4.6ポイント	+598 +10.2ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 自動車向け需要増加など市況回復および事業構造改革効果により増収増益
その他	3,233	153 4.7%	235 7.3%	102%	+26 +0.7ポイント	+74 +2.2ポイント	
全社及び消去	△4,982	54	188	-	+214	△2,225	
合計	73,466	4,844 6.6%	6,014 8.2%	123%	+1,675 +1.3ポイント	+978 △0.2ポイント	

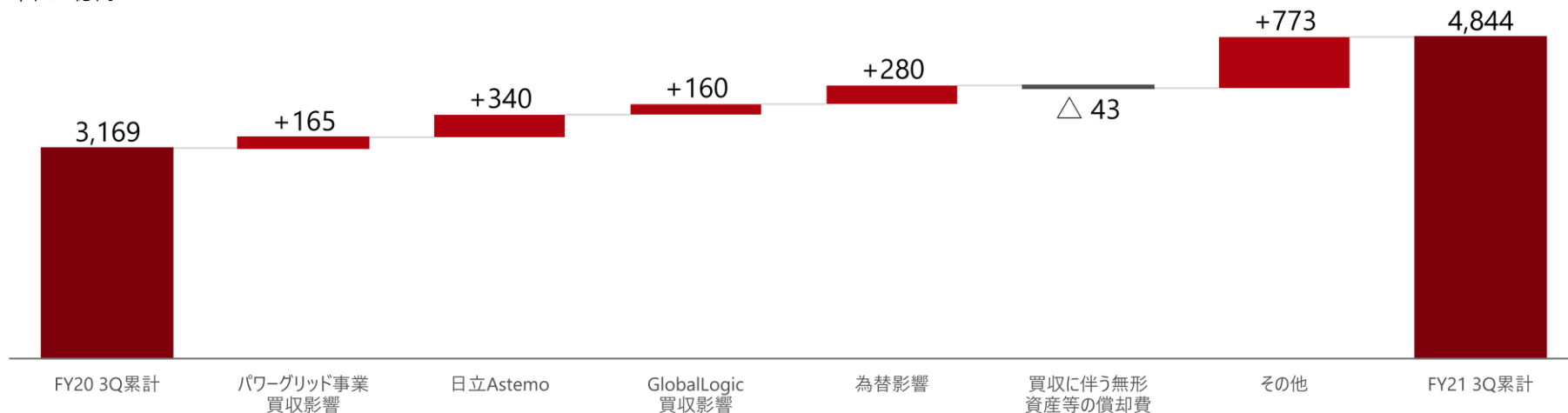
売上収益

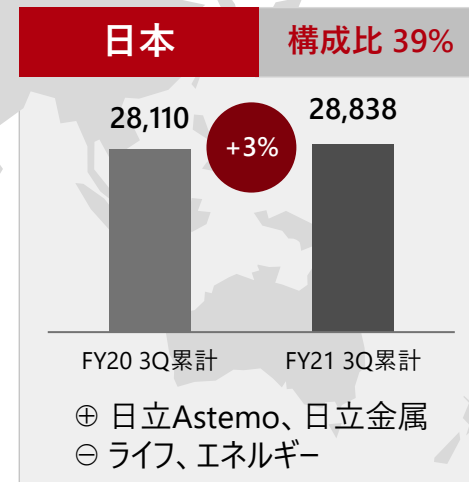
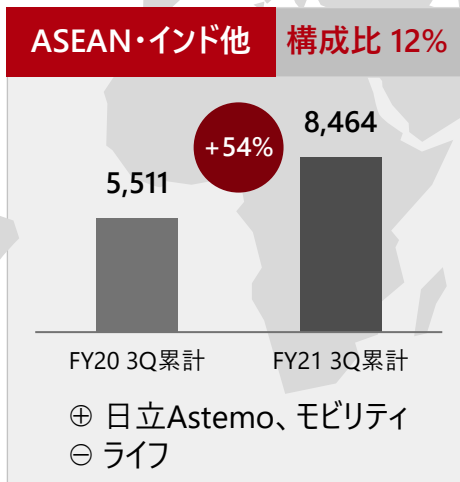
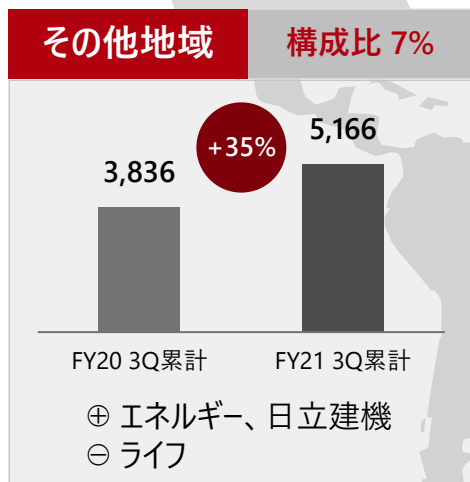
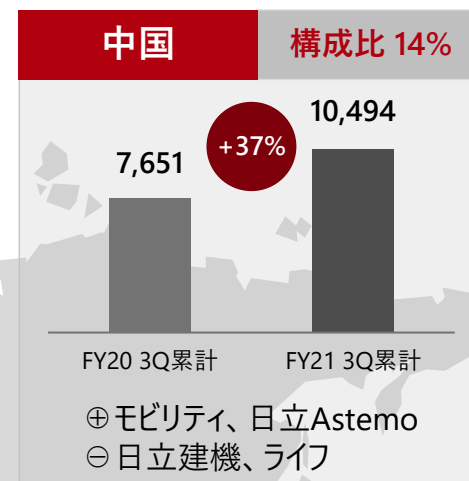
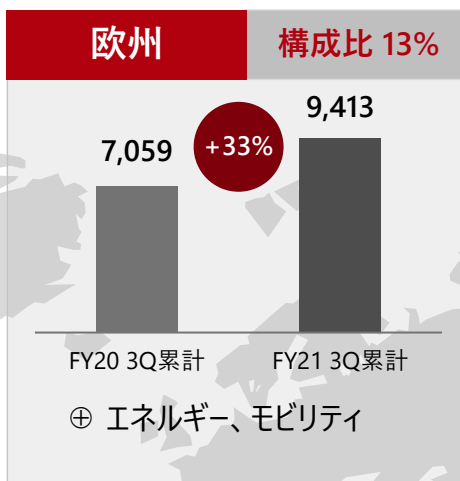
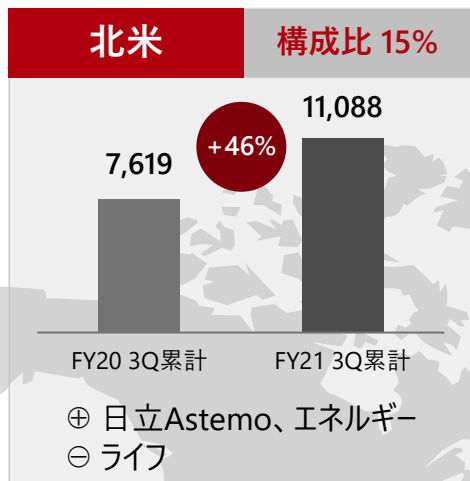
単位：億円



調整後営業利益

単位：億円





海外売上収益 **44,628** 億円

構成比 **61** %


単位：億円

財政状態

単位：億円	2020年度末	2021年度 第3四半期末	比較増減
資産合計	118,528	134,238	+15,710
現金及び現金同等物	10,158	9,902	△256
売上債権及び契約資産	27,344	26,818	△526
負債合計	73,946	85,224	+11,278
有利子負債	23,973	35,167	+11,194
親会社株主持分	35,255	39,501	+4,246
非支配持分	9,327	9,512	+184
運転資金手持日数 (CCC ⁽¹⁾)	81.0日	77.0日	△4.0日
親会社株主持分比率	29.7%	29.4%	△0.3ポイント
D/ELシオ	0.54倍	0.72倍	+0.18ポイント

キャッシュ・フロー

単位：億円	2020年度 3Q累計	2021年度 3Q累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	4,264	2,571	△1,692
投資キャッシュ・フロー	△7,660	△10,277	△2,616
フリー・キャッシュ・フロー	△3,396	△7,705	△4,308
コア・フリー・キャッシュ・フロー ^{*12}	1,817	△485	△2,303

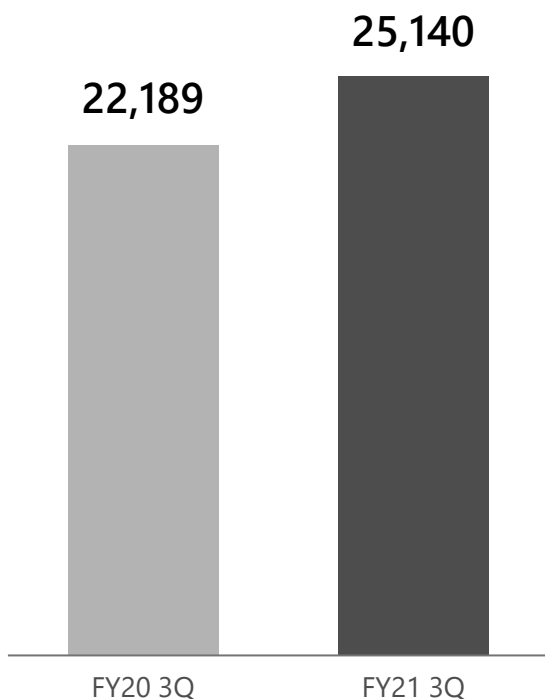


3. 2021年度 第3四半期 実績

売上収益

YoY 13%増収

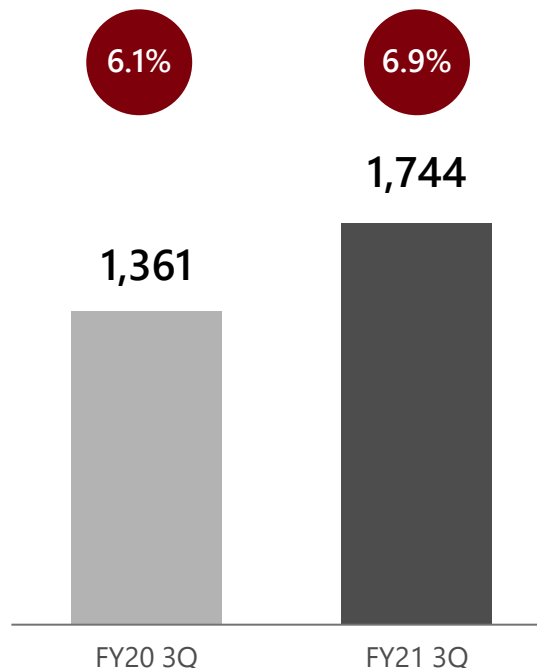
市況回復、GlobalLogic買収・日立Astemo統合影響により増収



調整後営業利益

YoY 利益率 +0.8ポイント

売上収益の増加に伴い増益



海外売上収益

15,426億円 (YoY +24%)

Lumada事業売上収益

3,840億円 (YoY +43%)

EBIT

1,759億円 (YoY +586億円)

四半期利益 (親会社株主帰属)

1,283億円 (YoY +712億円)

EBITDA

3,111億円 (YoY +682億円)

営業キャッシュ・フロー

956億円 (YoY △1,162億円)

● 調整後営業利益率 単位：億円

5セクター・Astemo・上場子会社別 実績 (FY21 3Q)

- 5セクター：部材価格高騰・半導体不足影響があるも、市況回復やGlobalLogic買収影響等により増収増益
- Astemo：日立Astemo統合影響により増収も、半導体不足影響等により減益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

単位：億円	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ]	Astemo [オートモティブシステム]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
売上収益	16,374	3,953	4,811	25,140
YoY	104%	164%	121%	113%
調整後営業利益	1,339	122	282	1,744
YoY	+273	△64	+174	+382
調整後営業利益率	8.2%	3.1%	5.9%	6.9%
YoY	+1.5ポイント	△4.7ポイント	+3.2ポイント	+0.8ポイント
EBIT	1,353	107	298	1,759
YoY	+137	+231	+217	+586
EBIT率	8.3%	2.7%	6.2%	7.0%
YoY	+0.6ポイント	+7.9ポイント	+4.2ポイント	+1.7ポイント
四半期利益(親会社株主帰属)	1,197	0	86	1,283
YoY	+403	+234	+74	+712

事業別 実績ハイライト (FY21 3Q)

単位：億円	FY21 3Q		YoY		概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽¹⁾	売上 収益	調整後 営業利益	
IT	5,187	582 11.2%	107%	△76 △2.3ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益は、交通分野等の顧客投資抑制、半導体不足による影響等があるも、Lumada事業やGlobalLogicが堅調に推移 調整後営業利益は、半導体不足の影響やGlobalLogicの買収に伴う無形資産等の償却費、統合に向けた一時的費用などの関連費用により減益
日立エナジー	2,804	204 7.3%	103%	△4 △0.3ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 部材価格の高騰、半導体不足、物流混乱の影響による減益はあったものの、為替影響により横ばい 受注は大型案件の複数受注により大幅増
ビルシステム	2,156	172 8.0%	113%	△10 △1.6ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 中国での事業拡大により増収も、部材価格高騰影響等により減益
鉄道	1,570	34 2.1%	112%	△2 △0.5ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 作業高増加や為替影響により売上収益の増加があるものの、製品構成変動により減益 受注は堅調に推移
日立ハイテク	1,266	100 7.9%	93%	+4 +0.9ポイント	<ul style="list-style-type: none"> インダストリアル・ソリューション事業は事業撤退により減収 アナリティカル・ソリューション事業は堅調に推移し増収増益 ナノテクノロジー・ソリューション事業は堅調に推移しているものの、製品構成差と戦略的投資増加により減益
日立Astemo	3,953	122 3.1%	164%	△64 △4.7ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 統合影響により増収も、半導体不足の影響による自動車メーカーの減産、部材価格の高騰、ロックダウン影響による部品供給減少など、厳しい事業環境が継続し減益

(1)パーセンテージは調整後営業利益率を表しています



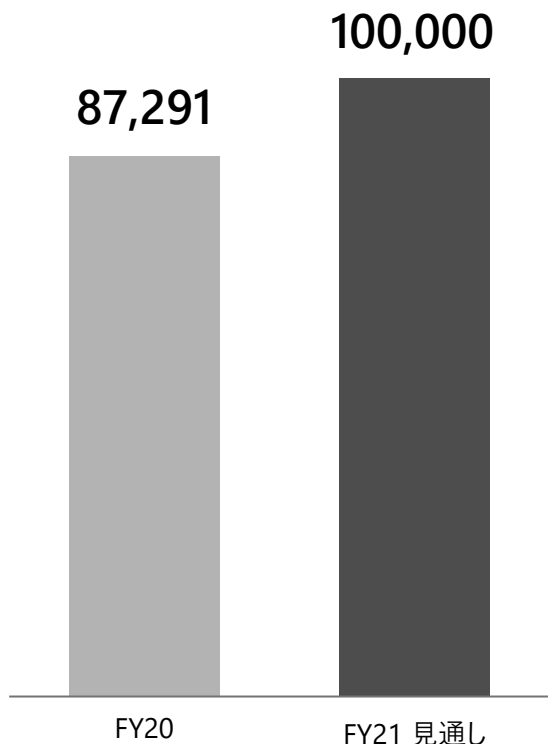
4. 2021年度 見通し

売上収益

YoY 15%増収

前回見通し⁽¹⁾比 +3%

市況回復、パワーグリッド事業および
GlobalLogic買収・日立Astemo統合影響
により前期比増収

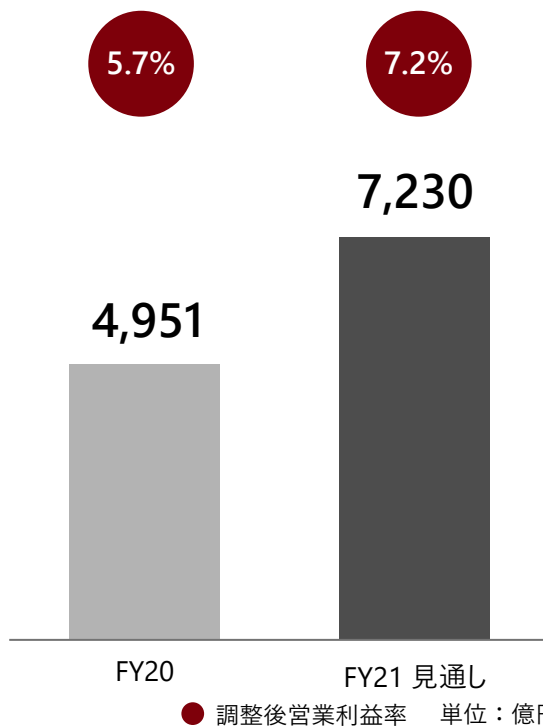


調整後営業利益

YoY +2,278億円

前回見通し比 ±0億円

売上収益の増加に伴い前期比増益



EBIT

7,810億円

(YoY △692億円)(前回見通し比 △390億円)

当期利益 (親会社株主帰属)

5,500億円

(YoY +483億円)(前回見通し比 ±0億円)

EBITDA

13,130億円

(YoY △300億円)(前回見通し比 △390億円)

営業キャッシュ・フロー

7,500億円

(YoY △431億円)(前回見通し比 ±0億円)

コア・フリー・キャッシュ・フロー

3,000億円

(YoY △1,198億円)(前回見通し比 ±0億円)

ROIC^{*13}

7.6% (YoY +1.2ポイント)

(前回見通し比 △0.5ポイント)

前提為替レート (FY21 4Q)

110円/ドル 130円/ユーロ

為替感応度⁽²⁾ (FY21 4Q)

ドル 売上+55 営業利益+10

ユーロ 売上+20 営業利益+5

(1) 前回見通しは2021年10月27日公表値

(2) 前提為替レートから1円円安となった場合の業績影響額(単位：億円)

5セクター・Astemo・上場子会社別 見通し (FY21)

- 5セクター：市況回復、パワーグリッド事業・GlobalLogic買収影響により増収増益
- Astemo：市況回復、日立Astemo統合影響により増収増益
- 上場子会社：市況回復により日立建機・日立金属ともに増収増益

単位：億円	5セクター [IT、エネルギー、インダストリー、 モビリティ、ライフ]	Astemo [オートモティブシステム]	上場子会社 [日立建機、日立金属]	連結 合計
売上収益	65,500	15,700	18,800	100,000
YoY	106%	159%	119%	115%
調整後営業利益	5,460	680	1,090	7,230
YoY	+1,121	+332	+823	+2,278
調整後営業利益率	8.3%	4.3%	5.8%	7.2%
YoY	+1.3ポイント	+0.8ポイント	+4.1ポイント	+1.5ポイント
EBIT	6,100	600	1,110	7,810
YoY	△2,574	+556	+1,324	△692
EBIT率	9.3%	3.8%	5.9%	7.8%
YoY	△4.8ポイント	+3.4ポイント	+7.3ポイント	△1.9ポイント
当期利益(親会社株主帰属)	5,000	150	350	5,500
YoY	△488	+446	+525	+483

セグメント別 見通し (FY21) (1/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益 ⁽³⁾	EBIT ⁽³⁾	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
IT⁽¹⁾	22,000	2,630	2,460	107%	△64	+11	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では、前回見通しから変更なし DX需要の取り込みによるLumadaの成長、GlobalLogic買収により増収を見込む。収益性向上に向けた継続的なコストコントロールにより、買収に伴う無形資産等の償却費や一時的費用を除けば前期比増益の見通し
フロント ビジネス	14,400	1,800	1,780	102%	+33	+102	
サービス& プラットフォーム	8,900	920	780	113%	+185	+187	
エネルギー	13,200	300	370	119%	+777	+925	<ul style="list-style-type: none"> セグメント全体では、前回見通しから変更なし 原子力・エネルギー合計は、原子力BUの作業高減少により前期比減収も、エネルギーBUにおける一部案件の対策強化の終了等により前期比増益の見通し パワーグリッド事業は、買収影響により前期比増収。収益性向上に加え、買収に伴う無形資産等の償却費の減少により前期比増益の見通し
原子力	1,566	-	-	92%	-	-	
エネルギー	1,884	-	-	100%	-	-	
原子力・エネ ルギー合計	-	317	320	-	+379	+397	
日立エナジー	10,454	647	671	145%	+325	+307	
関連費用 ⁽²⁾	-	△747	△789	-	△48	+12	

(1) GlobalLogic(スタンド・アローンベース)について、売上収益1,090億円・調整後営業利益232億円を織り込み。スタンド・アローンベースは買収にかかる無形資産等の償却費を含みません。GlobalLogicの買収が2021年7月14日に完了し、9カ月分を取り込んだ想定。

GlobalLogicの買収に伴う無形資産等の償却費はITセグメント合計に含まれています

(2) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

(3) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

セグメント別 見通し (FY21) (2/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
インダストリー	8,900	800 9.0%	720 8.1%	107%	+344 +3.5ポイント	+296 +3.0ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 産業・流通BU、インダストリアルプロダクツ事業の3Q累計業績を踏まえ、前回見通しから上方修正(売上収益+400億円、調整後営業利益+110億円) 産業・流通BUは、市況回復、JRオートメーションの売上増加により前期比増収増益の見通し 水・環境BUは、空調システム事業等が堅調に推移することに加え、固定費削減により前期比増収増益の見通し インダストリアルプロダクツ事業は、市況回復に伴う売上収益増加により前期比増収増益の見通し
産業・流通	3,325	378 11.4%	330 9.9%	109%	+220 +6.2ポイント	+212 +6.0ポイント	
水・環境	1,760	158 9.0%	163 9.3%	102%	+53 +2.9ポイント	+74 +4.1ポイント	
インダストリアル プロダクツ	3,970	311 7.8%	307 7.7%	105%	+67 +1.3ポイント	+32 +0.4ポイント	
モビリティ	14,300	860 6.0%	1,090 7.6%	119%	+112 △0.2ポイント	△200 △3.2ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 3Q累計業績を踏まえ、前回見通しから売上収益を上方修正(+1,100億円)。調整後営業利益は、部材価格高騰影響や中国不動産業界の与信悪化懸念、一部案件の収益性悪化を踏まえ、下方修正(△160億円) ビルシステムBUは、中国事業拡大により前期比増収増益の見通し 鉄道システムBUは、市況回復により前期比増収増益の見通し
ビルシステム	8,200	670 8.2%	667 8.1%	121%	+20 △1.4ポイント	△69 △2.7ポイント	
鉄道	6,341	251 4.0%	479 7.6%	116%	+85 +1.0ポイント	△143 △3.8ポイント	
ライフ⁽¹⁾	10,000	910 9.1%	1,500 15.0%	80%	+116 +2.8ポイント	△521 △1.1ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 半導体不足影響や部材価格高騰影響を踏まえ調整後営業利益を前回見通しから下方修正(△60億円) 画像診断関連事業売却による前期比減収影響あり 生活・エコシステム事業は、海外家電事業の売却による減収減益影響があるものの、EBITは前期比増益の見通し 計測分析システム事業は、インダストリアル・ソリューション事業の一部事業撤退影響により前期比減収。一方で、アナリティカル・ソリューション事業およびナノテクノロジー・ソリューション事業の需要拡大により前期比増益の見通し
生活・エコシ テム(日立GLS⁽²⁾)	4,000	282 7.1%	877 21.9%	88%	△53 △0.2ポイント	+478 +13.2ポイント	
計測分析システム (日立ハイテック)	5,900	670 11.4%	670 11.4%	97%	+123 +2.4ポイント	+119 +2.3ポイント	

(1) ライフセグメントの実績・見通しには、ヘルスケア事業他の売上収益・調整後営業利益・EBITおよび2020年度実績には画像診断関連事業売却益が含まれています

(2) 日立GLS：日立グローバルライフソリューションズ

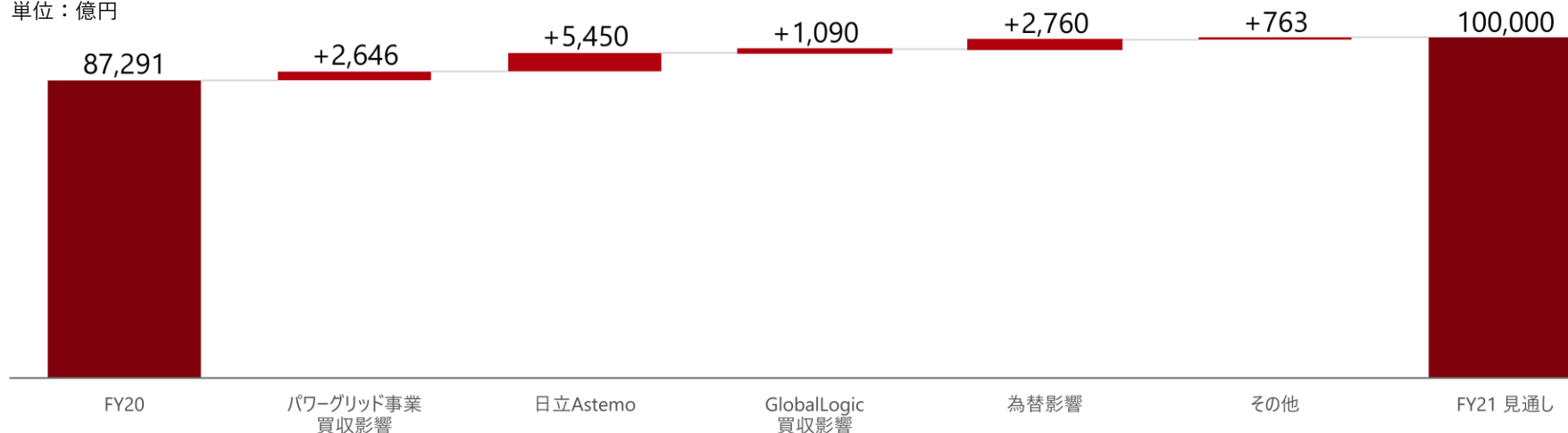
セグメント別 見通し (FY21) (3/3)

単位：億円	FY21 見通し			YoY			概況
	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	売上 収益	調整後 営業利益	EBIT	
日立Astemo	15,700	680 4.3%	600 3.8%	159%	+332 +0.8ポイント	+556 +3.4ポイント	<ul style="list-style-type: none"> • 前回見通しから売上収益を上方修正(+300億円) • 厳しい事業環境が継続するも、統合影響により前期比増収増益の見通し
日立建機	9,500	830 8.7%	895 9.4%	117%	+513 +4.8ポイント	+618 +6.0ポイント	<ul style="list-style-type: none"> • 前回見通しから上方修正(売上収益+300億円、調整後営業利益+100億円) • 鋼材価格を中心としたコスト増加影響があるものの、中国を除く主要地域の市況回復や米州での価格調整、また為替の円安影響により前期比増収増益の見通し
日立金属	9,300	260 2.8%	215 2.3%	122%	+309 +3.5ポイント	+706 +8.8ポイント	<ul style="list-style-type: none"> • 前回見通しから売上収益を上方修正(+100億円)。調整後営業利益を下方修正(△80億円) • 市況回復および事業構造改革効果により前期比増収増益の見通し • EBITは、事業構造改革関連費用の減少により増益の見通し
その他	4,600	220 4.8%	260 5.7%	102%	+7 +0.1ポイント	+6 +0.1ポイント	
全社及び消去	△7,500	△260	△300	-	△170	△3,092	
合計	100,000	7,230 7.2%	7,810 7.8%	115%	+2,278 +1.5ポイント	△692 △1.9ポイント	

売上収益・調整後営業利益 増減内訳 (FY21 連結合計)

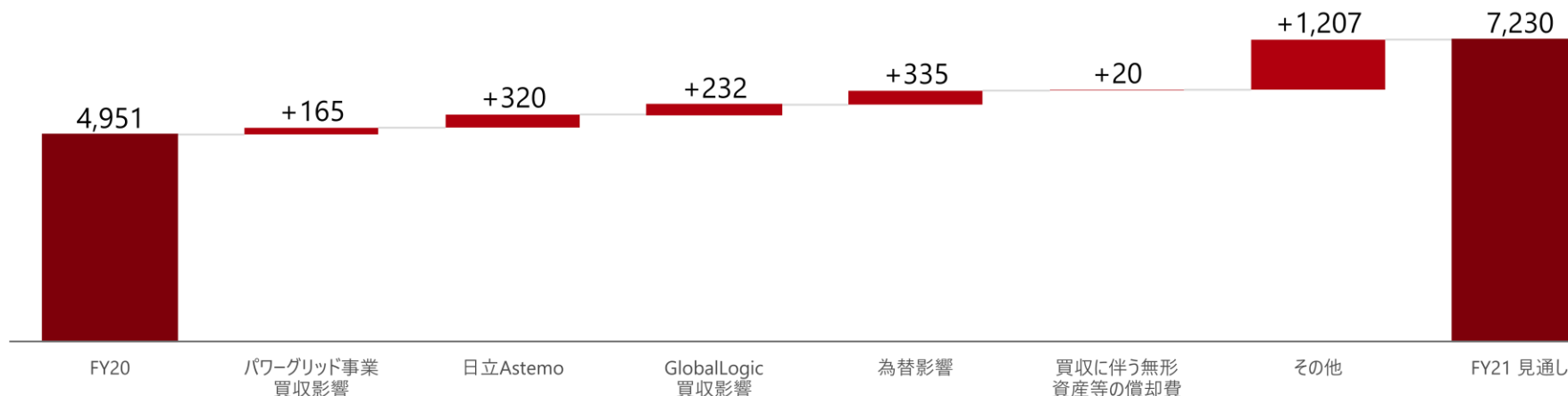
売上収益

単位：億円



調整後営業利益

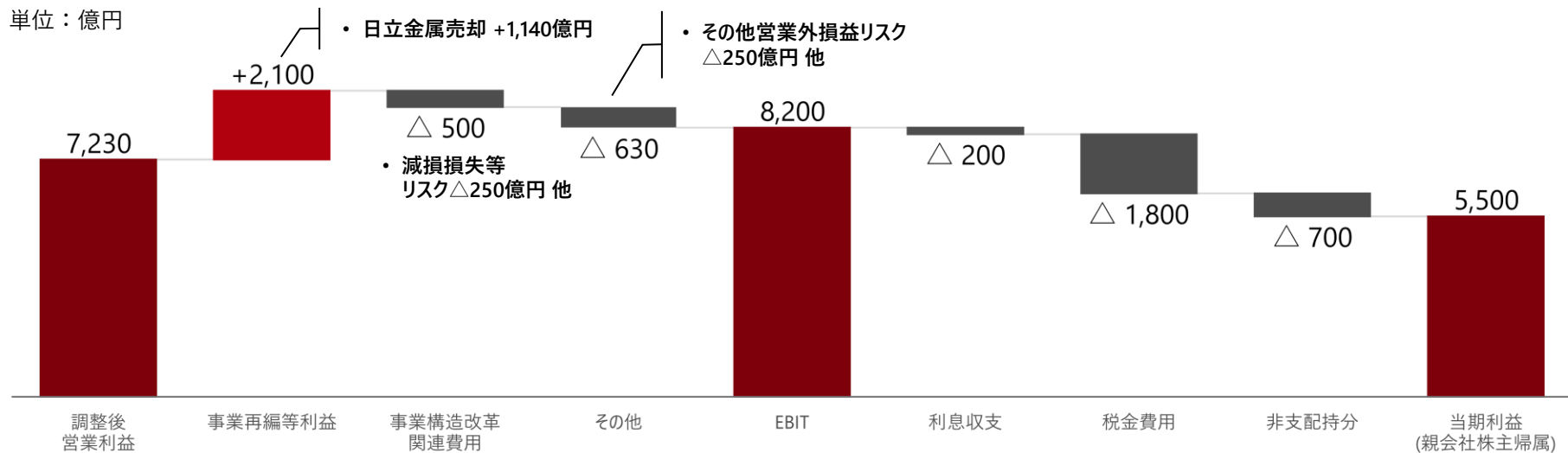
単位：億円



親会社株主に帰属する当期利益 内訳 (FY21 連結合計)

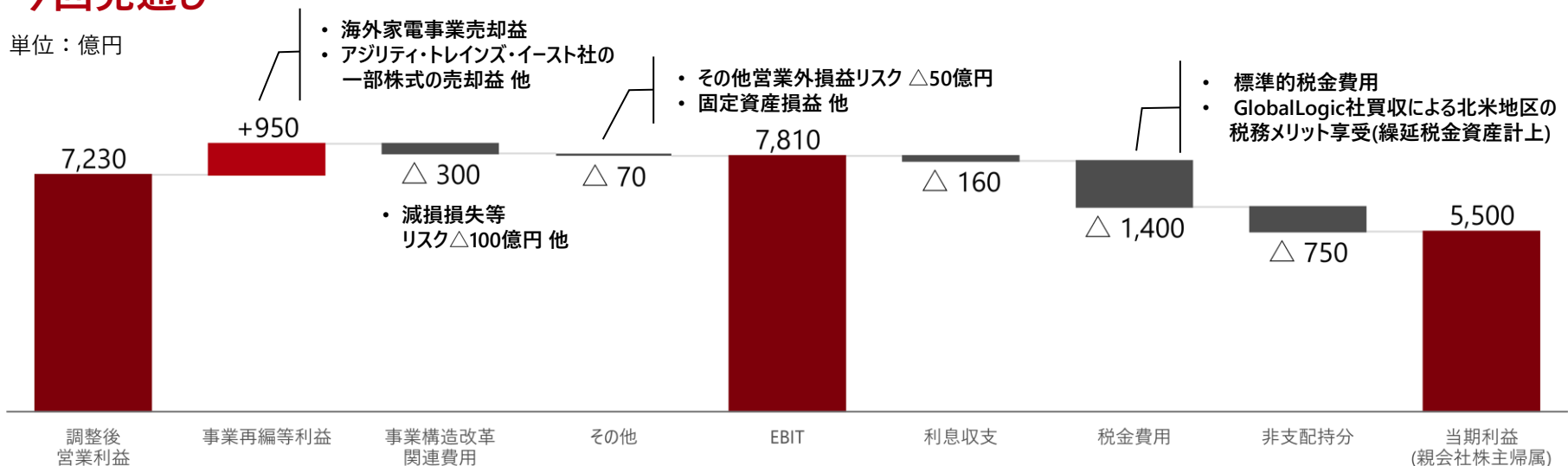
前回見通し (10月27日時点)

単位：億円



今回見通し

単位：億円



5. 参考資料

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	4,863	14,338	20,487	5,187	107%	14,954	104%	22,000	107%	100%
フロントビジネス	3,306	9,846	14,142	3,290	100%	9,839	100%	14,400	102%	100%
サービス& プラットフォーム	1,899	5,620	7,903	2,192	115%	6,129	109%	8,900	113%	100%
調整後営業利益 ⁽¹⁾	658	1,739	2,694	582	△76	1,706	△32	2,630	△64	±0
	13.5%	12.1%	13.2%	11.2%	△2.3ポイント	11.4%	△0.7ポイント	12.0%	△1.2ポイント	±0.0ポイント
フロントビジネス	402	1,123	1,767	401	±0	1,190	+67	1,800	+33	±0
	12.1%	11.4%	12.5%	12.2%	+0.1ポイント	12.1%	+0.7ポイント	12.5%	±0.0ポイント	±0.0ポイント
サービス& プラットフォーム	188	465	735	166	△22	478	+13	920	+185	±0
	9.9%	8.3%	9.3%	7.6%	△2.3ポイント	7.8%	△0.5ポイント	10.3%	+1.0ポイント	±0.0ポイント
EBIT ⁽¹⁾	639	1,617	2,448	558	△80	1,626	+8	2,460	+11	±0
	13.1%	11.3%	12.0%	10.8%	△2.3ポイント	10.9%	△0.4ポイント	11.2%	△0.8ポイント	±0.0ポイント
フロントビジネス	407	1,072	1,678	390	△17	1,175	+103	1,780	+102	±0
	12.3%	10.9%	11.9%	11.9%	△0.4ポイント	11.9%	+1.0ポイント	12.4%	+0.5ポイント	±0.0ポイント
サービス& プラットフォーム	166	416	593	157	△9	412	△4	780	+187	±0
	8.8%	7.4%	7.5%	7.2%	△1.6ポイント	6.7%	△0.7ポイント	8.8%	+1.3ポイント	±0.0ポイント
EBITDA	913	2,400	3,525	860	△52	2,469	+69	3,610	+84	±0

(1) パーセンテージは調整後営業利益率またはEBIT率を表しています

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	3,571	7,559	11,079	3,612	101%	10,363	137%	13,200	119%	100%
原子力	334	971	1,693	279	84%	776	80%	1,566	92%	100%
エネルギー	400	1,300	1,876	438	110%	1,270	98%	1,884	100%	100%
日立エナジー	2,734	5,070	7,224	2,804	103%	7,987	158%	10,454	145%	104%
調整後営業利益	△16	△87	△477	77	+93	69	+156	300	+777	±0
	△0.5%	△1.2%	△4.3%	2.2%	+2.7ポイント	0.7%	+1.9ポイント	2.3%	+6.6ポイント	±0.0ポイント
原子力・ エネルギー合計	△33	24	△62	45	+78	117	+93	317	+379	±0
	△4.5%	1.1%	△1.8%	6.2%	+10.7ポイント	5.6%	+4.5ポイント	9.7%	+11.5ポイント	±0.0ポイント
日立エナジー	209	356	322	204	△4	476	+120	647	+325	△20
	7.6%	7.0%	4.5%	7.3%	△0.3ポイント	6.0%	△1.0ポイント	6.2%	+1.7ポイント	△0.4ポイント
関連費用 ⁽¹⁾	△184	△445	△699	△169	+15	△527	△81	△747	△48	△31
EBIT	0	△105	△555	65	+65	204	+309	370	+925	±0
	0.0%	△1.4%	△5.0%	1.8%	+1.8ポイント	2.0%	+3.4ポイント	2.8%	+7.8ポイント	±0.0ポイント
原子力・ エネルギー合計	△28	35	△77	46	+74	149	+114	320	+397	+15
	△3.8%	1.6%	△2.2%	6.4%	+10.2ポイント	7.1%	+5.5ポイント	9.8%	+12.0ポイント	+0.5ポイント
日立エナジー	240	382	365	199	△42	499	+117	671	+307	△31
	8.8%	7.5%	5.1%	7.1%	△1.7ポイント	6.2%	△1.3ポイント	6.4%	+1.3ポイント	△0.6ポイント
関連費用 ⁽¹⁾	△204	△503	△802	△176	+27	△549	△46	△789	+12	△45
EBITDA	264	494	311	281	+17	895	+401	1,240	+928	±0

(1) 関連費用には、パワーグリッド事業買収に伴う無形資産等の償却費の他、PMIに係る関連費用等が含まれています

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	1,875	5,550	8,301	2,131	114%	6,061	110%	8,900	107%	105%
産業・流通	729	2,118	3,053	850	117%	2,382	112%	3,325	109%	106%
水・環境	338	953	1,733	343	101%	1,049	110%	1,760	102%	100%
インダストリアル プロダクツ	849	2,545	3,764	974	115%	2,783	109%	3,970	105%	102%
調整後営業利益	99	239	455	280	+181	536	+296	800	+344	+110
	5.3%	4.4%	5.5%	13.2%	+7.9ポイント	8.8%	+4.4ポイント	9.0%	+3.5ポイント	+0.9ポイント
産業・流通	44	97	158	188	+144	299	+202	378	+220	+103
	6.0%	4.6%	5.2%	22.1%	+16.1ポイント	12.6%	+8.0ポイント	11.4%	+6.2ポイント	+2.7ポイント
水・環境	13	23	105	16	+3	52	+29	158	+53	±0
	3.7%	2.4%	6.1%	4.6%	+0.9ポイント	5.0%	+2.6ポイント	9.0%	+2.9ポイント	±0.0ポイント
インダストリアル プロダクツ	39	108	244	77	+38	188	+80	311	+67	+11
	4.7%	4.2%	6.5%	7.9%	+3.2ポイント	6.7%	+2.5ポイント	7.8%	+1.3ポイント	+0.1ポイント
EBIT	102	259	423	288	+186	546	+286	720	+296	+130
	5.5%	4.7%	5.1%	13.5%	+8.0ポイント	9.0%	+4.3ポイント	8.1%	+3.0ポイント	+1.2ポイント
産業・流通	42	100	118	186	+143	286	+186	330	+212	+95
	5.8%	4.7%	3.9%	21.9%	+16.1ポイント	12.0%	+7.3ポイント	9.9%	+6.0ポイント	+2.4ポイント
水・環境	12	8	89	21	+9	63	+55	163	+74	±0
	3.7%	0.8%	5.2%	6.2%	+2.5ポイント	6.0%	+5.2ポイント	9.3%	+4.1ポイント	±0.0ポイント
インダストリアル プロダクツ	44	145	275	81	+37	200	+55	307	+32	+17
	5.2%	5.7%	7.3%	8.3%	+3.1ポイント	7.2%	+1.5ポイント	7.7%	+0.4ポイント	+0.3ポイント
EBITDA	158	437	669	343	+184	708	+271	920	+250	+130

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	3,239	8,626	11,996	3,682	114%	10,777	125%	14,300	119%	108%
ビルシステム	1,906	5,165	6,791	2,156	113%	6,490	126%	8,200	121%	106%
鉄道	1,407	3,636	5,477	1,570	112%	4,449	122%	6,341	116%	110%
調整後営業利益	195	593	747	197	+2	647	+53	860	+112	△160
	6.0%	6.9%	6.2%	5.4%	△0.6ポイント	6.0%	△0.9ポイント	6.0%	△0.2ポイント	△1.7ポイント
ビルシステム	182	563	650	172	△10	584	+21	670	+20	△65
	9.6%	10.9%	9.6%	8.0%	△1.6ポイント	9.0%	△1.9ポイント	8.2%	△1.4ポイント	△1.3ポイント
鉄道	36	74	165	34	△2	101	+27	251	+85	△92
	2.6%	2.0%	3.0%	2.1%	△0.5ポイント	2.3%	+0.3ポイント	4.0%	+1.0ポイント	△2.0ポイント
EBIT	287	701	1,290	224	△63	901	+199	1,090	△200	△150
	8.9%	8.1%	10.8%	6.1%	△2.8ポイント	8.4%	+0.3ポイント	7.6%	△3.2ポイント	△1.8ポイント
ビルシステム	276	668	736	171	△105	585	△83	667	△69	△68
	14.5%	12.9%	10.8%	7.9%	△6.6ポイント	9.0%	△3.9ポイント	8.1%	△2.7ポイント	△1.4ポイント
鉄道	35	76	622	61	+27	353	+277	479	△143	△73
	2.5%	2.1%	11.4%	3.9%	+1.4ポイント	7.9%	+5.8ポイント	7.6%	△3.8ポイント	△2.0ポイント
EBITDA	368	938	1,610	315	△53	1,164	+226	1,425	△185	△160

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
売上収益	2,904	8,978	12,527	2,323	80%	7,433	83%	10,000	80%	100%
生活・エコシステム (日立GLS)	1,116	3,377	4,563	947	85%	2,992	89%	4,000	88%	100%
計測分析システム (日立ハイテク)	1,357	4,413	6,063	1,266	93%	4,100	93%	5,900	97%	98%
調整後営業利益	167	628	794	156	△10	519	△108	910	+116	△60
	5.8%	7.0%	6.3%	6.8%	+1.0ポイント	7.0%	±0.0ポイント	9.1%	+2.8ポイント	△0.6ポイント
生活・エコシステム (日立GLS)	98	275	335	70	△28	198	△78	282	△53	△20
	8.8%	8.2%	7.3%	7.4%	△1.4ポイント	6.6%	△1.6ポイント	7.1%	△0.2ポイント	△0.5ポイント
計測分析システム (日立ハイテク)	96	423	547	100	+4	366	△57	670	+123	△14
	7.0%	9.6%	9.0%	7.9%	+0.9ポイント	8.9%	△0.7ポイント	11.4%	+2.4ポイント	±0.0ポイント
EBIT	175	632	2,021	183	+7	1,100	+467	1,500	△521	±0
	6.1%	7.0%	16.1%	7.9%	+1.8ポイント	14.8%	+7.8ポイント	15.0%	△1.1ポイント	±0.0ポイント
生活・エコシステム (日立GLS)	107	297	399	100	△7	783	+487	877	+478	±0
	9.6%	8.8%	8.7%	10.6%	+1.0ポイント	26.2%	+17.4ポイント	21.9%	+13.2ポイント	±0.0ポイント
計測分析システム (日立ハイテク)	99	431	551	93	△6	364	△67	670	+119	△14
	7.3%	9.8%	9.1%	7.4%	+0.1ポイント	8.9%	△0.9ポイント	11.4%	+2.3ポイント	±0.0ポイント
EBITDA	264	894	2,387	263	△1	1,341	+447	1,840	△547	△30

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
日立Astemo										
売上収益	2,405	5,639	9,875	3,953	164%	11,513	204%	15,700	159%	102%
調整後営業利益	186 7.8%	0 0.0%	347 3.5%	122 3.1%	△64 △4.7ポイント	345 3.0%	+346 +3.0ポイント	680 4.3%	+332 +0.8ポイント	±0 △0.1ポイント
EBIT	△124 △5.2%	△397 △7.1%	43 0.4%	107 2.7%	+231 +7.9ポイント	319 2.8%	+717 +9.9ポイント	600 3.8%	+556 +3.4ポイント	±0 △0.1ポイント
EBITDA	9	△10	650	347	+337	1,018	+1,028	1,550	+899	±0
日立建機										
売上収益	1,978	5,587	8,133	2,466	125%	7,203	129%	9,500	117%	103%
調整後営業利益	70 3.6%	174 3.1%	316 3.9%	229 9.3%	+158 +5.7ポイント	604 8.4%	+429 +5.3ポイント	830 8.7%	+513 +4.8ポイント	+100 +0.8ポイント
EBIT	76 3.9%	136 2.4%	276 3.4%	242 9.8%	+166 +5.9ポイント	676 9.4%	+540 +7.0ポイント	895 9.4%	+618 +6.0ポイント	+80 +0.5ポイント
EBITDA	210	521	789	386	+176	1,098	+576	1,475	+685	+80
日立金属										
売上収益	2,005	5,414	7,616	2,344	117%	6,908	128%	9,300	122%	101%
調整後営業利益	37 1.9%	△85 △1.6%	△49 △0.7%	53 2.3%	+15 +0.4ポイント	206 3.0%	+292 +4.6ポイント	260 2.8%	+309 +3.5ポイント	△80 △0.9ポイント
EBIT	4 0.2%	△383 △7.1%	△491 △6.5%	55 2.4%	+50 +2.2ポイント	215 3.1%	+598 +10.2ポイント	215 2.3%	+706 +8.8ポイント	+30 +0.3ポイント
EBITDA	123	0	12	172	+48	564	+563	675	+662	+30

その他・全社及び消去・合計

単位：億円	FY2020			FY2021						
	3Q	3Q累計	通期	3Q	YoY	3Q累計	YoY	通期 (見通し)	YoY	前回 見通し比
その他										
売上収益	1,075	3,161	4,490	1,058	98%	3,233	102%	4,600	102%	102%
調整後営業利益	51 4.8%	126 4.0%	212 4.7%	34 3.2%	△17 △1.6ポイント	153 4.7%	+26 +0.7ポイント	220 4.8%	+7 +0.1ポイント	+60 +1.2ポイント
EBIT	55 5.2%	160 5.1%	253 5.6%	37 3.6%	△17 △1.6ポイント	235 7.3%	+74 +2.2ポイント	260 5.7%	+6 +0.1ポイント	+130 +2.8ポイント
EBITDA	138	399	592	119	△18	484	+84	600	+7	+150
全社及び消去										
売上収益	△1,729	△5,016	△7,216	△1,621	-	△4,982	-	△7,500	-	-
調整後営業利益	△90	△159	△89	9	+99	54	+214	△260	△170	+30
EBIT	△45	2,414	2,792	△4	+40	188	△2,225	△300	△3,092	△610
合計										
売上収益	22,189	59,790	87,291	25,140	113%	73,466	123%	100,000	115%	103%
調整後営業利益	1,361 6.1%	3,169 5.3%	4,951 5.7%	1,744 6.9%	+382 +0.8ポイント	4,844 6.6%	+1,675 +1.3ポイント	7,230 7.2%	+2,278 +1.5ポイント	±0 △0.3ポイント
EBIT	1,173 5.3%	5,035 8.4%	8,502 9.7%	1,759 7.0%	+586 +1.7ポイント	6,014 8.2%	+978 △0.2ポイント	7,810 7.8%	△692 △1.9ポイント	△390 △0.7ポイント
EBITDA	2,428	8,554	13,430	3,111	+682	10,004	+1,449	13,130	△300	△390

- *1 調整後営業利益は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です
- *2 EBITDAは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息及び減価償却費(有形および無形)を加算して算出した指標です。EBITDA(受取利息、支払利息及び減価償却費調整後税引前利益)は、Earnings before interest, taxes, depreciation and amortizationの略です
- *3 買収に伴う無形資産等の償却費は、買収直後に被買収会社の資産・負債を時価評価し、のれんから無形資産等に振り替え、当該無形資産等を一定の耐用年数で償却した費用。支払済みの取得対価の内数であり、ノンキャッシュ費用
- *4 EBITは、継続事業税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。EBIT(受取利息及び支払利息調整後税引前利益)は、Earnings before interest and taxesの略です
- *5 「5セクター」の合計は、「連結 合計」から「Astemo」と「上場子会社」の合計の数値を差し引いたもので、その他と全社及び消去の数値を含みます
- *6 2021年度より、オートモティブシステム事業(日立Astemo)の数値はオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントに計上されています。ライフセグメントおよびオートモティブシステム(日立Astemo)セグメントの対前年度比較は、この変更を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *7 2020年度第3四半期累計の実績にはケーヒン、ショーワ、日信工業の業績は含まれていません
- *8 金融、公共、社会インフラ(電力、交通、通信等)向けシステムインテグレーション、ソフトウェア・ハードウェアの販売、保守・メンテナンス及び関連サービス、コンサルティング他
- *9 制御システム、ストレージ、サーバ、ならびに関連ソフトウェア・サービスの販売、保守・メンテナンス他
- *10 ITセグメントに計上されている制御システム事業を含んでいます
- *11 エネルギーBUの対前年度比較は、パワーグリッド事業に関する組織再編を2020年度に遡及した数値と比較しています
- *12 コア・フリー・キャッシュ・フローは、フリー・キャッシュ・フローから、M&Aや資産売却他にかかるキャッシュ・フローを除いた経常的なキャッシュ・フローです
- *13 ROIC(投下資本利益率)は、Return on invested capitalの略であり、「 $ROIC = (\text{税引後の調整後営業利益} + \text{持分法損益}) \div \text{投下資本} \times 100$ 」により算出しています。なお、 $\text{税引後の調整後営業利益} = \text{調整後営業利益} \times (1 - \text{税金負担率})$ 、 $\text{投下資本} = \text{有利子負債} + \text{資本の部合計}$ です

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・COVID-19の流行による社会的・経済的影響の悪化
- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・人材の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・主要市場・事業拠点(特に日本、アジア、米国及び欧州)における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り

HITACHI
Inspire the Next 